



議員 椎名勝英
(日本共産党)



横芝光町・多古町・芝山町など、広がる学校給食の無償化

問 文科省の学習費調査では、公立小学校の学校教育費が年間約6万6千円/人、公立中学校は約13万2千円/人です。匝瑳市の学校給食費の月額が小学校で4,200円、中学校で4,700円。学校教育費と学校給食費を合わせると、小学生で年約11万5千円、中学校で年18万9千円と子育て世帯にとって重い負担になっている。

答 市長は、議会の学校給食費無償化の決議（平成30年）をどう受け止めているか。

また、先進地事例では、オーガニック給食で食事がおいしいと子どもに好評で残食も少ない。有機農業の政府目標に合わせ、学校給食で有機農産物を使用してはどうか。

答 「市長」本市では、一定の条件で第3子以降の学校給食費を無償としている。令和5年度は4か月間、国の交付金を活用して無償とした。また、「議会における無償化の決議」は、大変重く受け止めているが、財

源確保の面で困難である。引き続き、近隣市町の状況等を見て調査研究したい。

また、本市での学校給食の有機米使用は、安心安全な食材提供と地産地消の観点から検討したい。

災害発生時のブロック塀倒壊事故の防止のために

問 匝瑳市では、危険なブロック塀の撤去費用の一部を補助しているが、その実績はどうか。

答 「都市整備課長」危険コンクリートブロック塀等除却補助金は、市の基準により危険と判断したものに對し、上限10万円で、補助対象経費の一部を補助するものである。本年度実績は5件。

日本一の植木のまちに相應しい管理を

問 野栄ふれあい公園に植栽した多くの木は、なぜ枯れてしまったのか。また、芝生の天敵であるクローバーが繁殖しているが対策はどうか。

答 「都市整備課長」樹木が枯れた原因は、これまで調査を実施したことはない。今後、枯死や生育不良等の対策と植栽の実施について委託業者に相談するなど、情報収集に努めたい。また、クローバーについても引き続き対策を検討したい。



議員 近藤魁人
(匝瑳市)



市長の政治姿勢について

問 市長は6つのまちづくりビジョン及び7つの重点施策を掲げ、多くの市民の賛同を得られたものであると考える。

今現在、各重点施策の達成率は何%ぐらいか。

答 「市長」まちづくりに向けたビジョンや施策は、市民の皆様の声を聞きながら今後も新たな事業を展開し、拡充してまいりたいと考えている。

このことから、達成率は現時点において数値化していない。現在掲げている事業を着実に実施してまい

問 市長は以前から、市の財政状況は依然として厳しく、市税の大幅な伸びは見込めない、財源の確保が課題と発言している。財源が限られている中、7つの重点施策を見ていると予算規模の大きい施策が目立つ。市民からも施策達成は厳しいのではないかと、意見も散見される。貴重な財源の観点から、重点施策に優先順位をつけるとするならば、どの施策が最優先なのか。

答 「市長」この7つの重点施策は、どれを優先するかはなかなか難しいところである。

これまで申してきたように、国保匝瑳市民病院の建替整備であったり、産業用地の整備促進事業、まずはこれらを着実に進めていきたい。

問 病院に関して、市民より意見が寄せられている。新病院は駅の南側に位置すると多くの市民が考えている。既に新病院建設に多くの予算が投じられているが、場所は駅南側で決意されたということでは間違いないか。

答 「市長」全員協議会の中でも基本構想・基本計画案について説明したが、病院の建替用地に関しては、駅南側を選定した。現在、その用地取得に向けて頑張っているところである。

DXの推進について

問 匝瑳市でDX推進室のような体制を設ける予定は。

答 「企画課長」現在、副市長及び各課長で構成される情報化推進委員会、情報化の推進や情報セキュリティ対策に係る重要事項の審議などを行っている。当面、この組織を通じて全体のDXの推進を図ってまいりたい。